

- 問1 戦国時代を勝ち抜き全国統一を進めた豊臣秀吉は、1587年に九州平定を終えた後、キリスト教の宣教師に対して日本からの退去を命じました。この政策が行われた背景にある当時の状況として最も適切なものはどれですか。 (2022年 山形県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 宣教師の活動にともない、キリシタン大名が領内の神社仏閣を破壊したり、日本人が奴隷として海外に売られたりしていた状況を秀吉が危惧したため | 2. 藩校の設立を通じて武士に儒教を普及させようとした秀吉が、儒教の教えと対立するキリスト教の思想を排除して学問の統一を図ろうとしたため | 3. 江戸幕府が五街道の整備を進める中で、キリスト教の布教が街道沿いの宿場町の治安を乱すと判断し、各地の守護大名に命じて宣教師を追放させたため | 4. 宣教師たちが鉄砲の製造技術を独占し、秀吉の進める刀狩や検地といった政策に対してキリスト教徒を組織して武装蜂起を扇動したため |
|--|--|---|--|
- 問2 豊臣秀吉が行った太閤検地が、日本の歴史において「中世から近世への転換点」とされる理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2019年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 古代から続く公地公民の原則を復活させ、すべての土地を朝廷が管理する制度に戻したため。 | 2. 荘園領主の土地支配権を否定し、全国一律の基準で農民から直接年貢を徴収する仕組みを確立したため。 | 3. 武士が農村に住み続けることを奨励し、自給自足の村落共同体を強化して鎖国体制を準備したため。 | 4. 土地の売買を完全に自由化し、貨幣経済に基づいた近代的な地租改正の先駆けとなったため。 |
|---|--|--|---|
- 問3 日本の歴史的な建造物について述べた次の説明のうち、桃山文化を代表する城郭建築の遺構として最も適切なものはどれですか。なお、比較対象として平安時代の厳島神社、室町時代の慈照寺銀閣、平安時代の中尊寺金色堂などの資料が並んでいるものとします。 (2021年 京都府公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|---------|-----------|----------|
| 1. 姫路城 | 2. 厳島神社 | 3. 中尊寺金色堂 | 4. 慈照寺銀閣 |
|--------|---------|-----------|----------|
- 問4 安土桃山時代、織田信長や豊臣秀吉に仕え、豪華な文化が栄えるなかで、無駄を徹底的に省いた質素で静かな美しさを重んじる「わび茶」を大成させた人物は誰ですか。 (2024年 栃木県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|--------|-------|--------|
| 1. 狩野永徳 | 2. 世阿弥 | 3. 雪舟 | 4. 千利休 |
|---------|--------|-------|--------|
- 問5 大航海時代における航海者とその影響について述べた文として、コロンブスの活動を正しく説明しているものはどれですか。 (2017年 長崎県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. スペインの援助を受けて大西洋を横断し、ヨーロッパの人々にアメリカ大陸の存在が知られるきっかけを作った。 | 2. ポルトガルの援助を受けてアフリカ南端の喜望峰を回り、インドへの直接航路を初めて開拓した。 | 3. スペインの援助を受けて世界周航に出発し、地球が丸いことを実証する一団の先頭に立った。 | 4. イタリアの商人として陸路でアジアを訪れ、東洋の状況を『東方見聞録』としてヨーロッパに紹介した。 |
|--|---|---|--|
- 問6 豊臣秀吉は、刀狩令によって農民から武器を没収するとともに、太閤検地によって耕作者を検地帳に登録しました。これらの政策を通じて、武士と農民の身分を明確に区別した仕組みを何と呼びますか。 (2022年 鳥取県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 地租改正 | 2. 版籍奉還 | 3. 廃藩置県 | 4. 兵農分離 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問7 豊臣秀吉が「刀狩令」を出した際、没収した武器の用途について農民たちにどのように説明したとされていますか。当時の状況として正しいものを選びなさい。 (2024年 栃木県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------------------|--------------------------------|------------------------------------|---------------------------------|
| 1. 新たに組織する足輕階級の公的な装備として再利用する | 2. 海外との貿易において、主要な輸出品として加工し活用する | 3. 戦国時代から続く戦乱を終結させるため、すべて海に沈めて廃棄する | 4. 京都の東山に建立する大仏殿の釘やかすがいなどの材料にする |
|------------------------------|--------------------------------|------------------------------------|---------------------------------|
- 問8 安土桃山時代の文化において、豊臣秀吉に仕えた堺の豪商出身の人物で、当時の華やかな風潮とは対照的に、質素な中でも精神的な深みを見出す「わび茶」の作法を完成させたのは誰ですか。 (2023年 山口県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|-------|---------|--------|
| 1. 世阿弥 | 2. 栄西 | 3. 足利義政 | 4. 千利休 |
|--------|-------|---------|--------|
- 問9 日本と世界の交流に関する歴史的な事象のうち、16世紀の「天正遣欧少年使節」の派遣と、歴史的な時期や背景が最も近い出来事はどれですか。 (2019年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 聖武天皇の遺品やシルクロードを経由した国際色豊かな工芸品が、正倉院に納められたこと。 | 2. 日本の錦絵がヨーロッパへ渡り、印象派などの画家の作品に大きな影響を与えたこと。 | 3. パスコ・ダ・ガマが喜望峰を経てインドに到達し、アジアへの新航路が開かれたこと。 | 4. マルコ・ポーロが元を訪れてフビライに仕え、その見聞が『世界の記述』としてまとめられたこと。 |
|---|--|--|--|
- 問10 16世紀の大航海時代、スペインが築いた植民地支配の広がりについて述べたものとして、正しいものはどれですか。北アメリカ南部、南アメリカ大陸の大部分、および東南アジアの島々を支配していた状況を踏まえて答えなさい。 (2026年 三重県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. アジアでの香料貿易を独占するため、ジャワ島のバタビアを拠点に東南アジアの島々を武力で支配した。 | 2. パスコ・ダ・ガマがインド航路を開拓したことをきっかけに、アフリカ沿岸やインドのゴア、中国のマカオを支配した。 | 3. ポルトガルから独立した直後、南アメリカ大陸のブラジルを中心に、金や銀の採掘を目的とした植民地を築いた。 | 4. スペイン王室の支援を受けたコロンブスの航海をきっかけに、南北アメリカ大陸の広大な地域やフィリピンを支配した。 |
|--|---|--|---|
- 問11 織田信長が安土城の城下町などで実施した「楽市・楽座」の目的と内容について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2026年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. キリスト教の布教を制限するため、特定の商人による貿易のみを認め、各地に関所を設置して物流を統制した。 | 2. 農民の反乱を防ぐため、農村から武器を没収し、身分による住み分けを明確にすることで兵農分離を進めた。 | 3. 城下町の経済的発展を促すため、独占的な商人の特権であった「座」を廃止し、自由な商取引を認めた。 | 4. 幕府の財政を安定させるため、有力な商人に「株仲間」という独占的な特権を与えて営業税を徴収した。 |
|---|--|--|--|
- 問12 豊臣秀吉が発令した「総無事令」の背景とその仕組みについて述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2022年 香川県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 関白の権威を背景に、大名間の領土問題を秀吉の裁定にゆだねさせ、私戦を続ける者を武力で討伐する根拠とした。 | 2. 兵農分離を進める背景として、農民から刀や弓などの武器を没収し、一揆を防止するとともに身分制度を確立させた。 | 3. 江戸幕府の成立を背景に、将軍が大名に対して参勤交代を義務付け、反乱の芽を摘み取るための基本法とした。 | 4. 安土城の築城を背景に、信長が実施した楽市・楽座を引き継ぎ、商工業の自由化を全国に広めることを目的とした。 |
|---|--|---|---|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 宣教師の活動にともない、キリシタン大名が領内の神社仏閣を破壊したり、日本人が奴隷として海外に売られたりしていた状況を秀吉が危惧したため	九州を平定した豊臣秀吉は、キリシタン大名が長崎を教会に寄進していることや、宣教師の活動の裏で日本人が海外へ奴隷として売買されている実態を知りました。秀吉は、日本を「神国」と位置づけ、キリスト教の布教が日本の伝統的な秩序を乱すと判断し、バテレン追放令（宣教師の国外追放）を出しました。なお、五街道の整備や藩校の設立は江戸時代、守護大名の任命は室町時代以前の出来事であり、時代設定が異なります。
問2	答え 2 荘園領主の土地支配権を否定し、全国一律の基準で農民から直接年貢を徴収する仕組みを確立したため。	中世の土地制度（荘園制）では、一つの土地に対して貴族や寺社など複数の権利者が重なり合っていましたが、太閤検地によってこれらの複雑な関係が整理されました。全国で統一された枡（京枡）を用いるなど、公平かつ強力な統治システムを構築したことで、武士が領主として農民を支配する近世的な社会構造（幕藩体制）への移行が決定づけられました。
問3	答え 1 姫路城	桃山文化は織田信長や豊臣秀吉の時代を中心に、大名たちの権力を象徴する城郭建築が発達した時期です。姫路城はその代表的な遺構であり、防御機能だけでなく、書院造の意匠を取り入れた豪華な内部構造を持っています。厳島神社や中尊寺金色堂は平安時代、慈照寺銀閣は室町時代の東山文化を代表する建築物であり、時代背景が異なります。
問4	答え 4 千利休	豊臣秀吉に重用された茶人であり、禅の精神を取り入れた「わび茶」を完成させました。当時の武士たちの間では、茶の湯は単なるたしなみだけでなく、政治的な交渉や精神修養の場としても極めて重要な役割を果たしていました。
問5	答え 1 スペインの援助を受けて大西洋を横断し、ヨーロッパの人々にアメリカ大陸の存在が知られるきっかけを作った。	コロンブスの航海は、大西洋の先に未知の大陸（アメリカ大陸）があることをヨーロッパ社会に認識させる歴史的な転換点となりました。他の選択肢のうち、インド航路開拓はバスコ・ダ・ガマ、世界周航はマゼラン、東方見聞録はマルコ・ポーロの業績です。
問6	答え 4 兵農分離	豊臣秀吉は、農民が一揆を起こすことを防ぎ、また年貢を確実に納めさせるために刀狩を行いました。同時に太閤検地によって農民の権利と納税の義務を確定させたことで、戦う役割の武士と耕作する役割の農民という区別が明確になり、社会の安定化が図られました。
問7	答え 4 京都の東山に建立する大仏殿の釘やかすがいなどの材料にする	秀吉は刀狩を命じる際、没収した武器を方広寺（京都）の大仏造立の材料にすると説明しました。これは、武器を差し出すことが現世の利益や来世の救済につながるという宗教的な名目を持たせることで、農民からの反発を和らげ、スムーズに武器を回収しようとする意図がありました。
問8	答え 4 千利休	堺の豪商出身で、織田信長や豊臣秀吉の茶頭として仕えました。それまでの豪華な茶の湯とは異なり、簡素な茶室で精神的な交流を重んじる「わび茶」を大成させ、後の日本文化に大きな影響を与えました。選択肢にある栄西は鎌倉時代に喫茶の習慣を伝え、足利義政は室町時代の東山文化において茶の湯を保護した人物です。
問9	答え 3 バスコ・ダ・ガマが喜望峰を経てインドに到達し、アジアへの新航路が開かれたこと。	16世紀は、ヨーロッパ諸国が海外へ進出した「大航海時代」にあたります。バスコ・ダ・ガマによるインド航路の開拓（15世紀末）を契機として、ポルトガル人やスペイン人がアジアへ来航し、南蛮貿易やキリスト教の伝来が始まりました。天正遣欧少年使節は、まさにこの大航海時代における東西交流の波の中で実現した出来事です。他の選択肢については、マルコ・ポーロは13世紀、正倉院は8世紀、錦絵の影響は19世紀の出来事であり、時期が異なります。
問10	答え 4 スペイン王室の支援を受けたコロンブスの航海をきっかけに、南北アメリカ大陸の広大な地域やフィリピンを支配した。	16世紀のスペインは、コロンブスの航海を支援したことで、カリブ海周辺から南北アメリカ大陸（現在のメキシコやペルーなど）へと急速に支配を広げました。また、アジアにおいてはフィリピン諸島を領有し、メキシコの銀をフィリピン経由で中国（明）へ運ぶなど、世界規模の交易網を構築しました。アフリカ沿岸やインド、マカオなどを拠点としたのはポルトガルであり、スペインの支配地域とは異なります。
問11	答え 3 城下町の経済的発展を促すため、独占的な商人の特権であった「座」を廃止し、自由な商取引を認めた。	戦国時代、それまでの商業は「座」と呼ばれる特権団体が独占しており、新しく商売を始める者には障壁となっていました。信長は自らの領地の経済を活性化させるため、これらの特権を廃止して誰でも自由に商売ができるようにしました。これにより、城下町に多くの商人が集まり、物資が豊富に流通するようになりました。選択肢にある「株仲間」は江戸時代中期に幕府が認めた独占組織であり、楽市・楽座とは正反対の性格を持つため注意が必要です。
問12	答え 1 関白の権威を背景に、大名間の領土問題を秀吉の裁定にゆだねさせ、私戦を続ける者を武力で討伐する根拠とした。	それまでの戦国大名は「自力救済（自分の力で問題を解決すること）」が原則でしたが、秀吉はこの法令によって紛争の裁定権を自分（豊臣政権）に一本化しようとしていました。これに従わなかった九州の島津氏や関東の後北条氏を討伐することで、秀吉は武力と法制度の両面から全国支配を完成させました。